

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	精巣腫瘍における GSK-3 β の発現と予後の解析
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2004 年 1 月～2024 年 1 月の間に新潟大学医歯学総合病院泌尿器科で精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術もしくは BEP 療法を施行された患者 70 名。 研究責任者：新潟大学医歯学総合病院泌尿器科 富田 善彦
③ 概要	精巣腫瘍は若い男性に生じる稀な悪性疾患ですが、その稀有性から腫瘍の性質に関わる研究は他の癌腫と比較して少なく、全身治療である BEP（ビンクリスチン、エトポシド、シスプラチン）併用療法は 30 年以上にわたり導入化学療法の中心となっています。グリコーゲンシンターゼキナーゼ 3β（GSK3β）は、さまざまな種類の癌細胞において増殖に寄与することが分かっており、GSK3β 阻害剤が治療薬として期待されています。しかし、精巣腫瘍では GSK3β の発現程度や予後へ治療効果の影響について調査がされていません。そこで今回、精巣腫瘍における GSK3β の発現および予後について解析することで、新たな治療選択肢を考えることができるようになると考えています。そこで、2004 年 3 月～2024 年 3 月の期間に精巣腫瘍の治療を受けたことのある約 70 症例の後方視的臨床調査を計画しました。
④ 申請番号	2023-0373
⑤ 研究の目的・意義	(1) 精巣腫瘍における GSK-3β の発現程度を調査すること。 (2) GSK-3β の発現と精巣腫瘍の予後の関連について解析すること。
⑥ 研究期間	倫理委員会承認審査日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液・尿検査結果、画像検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	病歴（性別、年齢、身長、体重、使用薬剤）、血液・尿検査結果、画像検査、精巣標本
⑨ 利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学泌尿器科 晝間 楓
⑪ お問い合わせ先	腎泌尿器病態学分野医局 晝間 楓 Tel : 025 (227) 2289

	E-mail : maple.n.leviathan.regalia@gmail.com
--	---